

事務事業名	飯田観光協会との連携事業				会計	一般会計		事業種別	政策	開始	25	終了	
H27担当課等名	観光課	H27係等名	全係		H26係等名	全係							
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり										
	施策	13	新しい力による新しい産業づくり										
目的	対象(誰・何を)	飯田観光協会会員						対象指標	指標名及び単位			26年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	多様な産業が連携し、飯田市及び付近の観光地、民芸品・物産を紹介宣伝し、観光客の誘客を図る。							会員数				179
	向上させたい上位施策の成果指標	観光消費額(億円)											
目標	種別	指標名及び単位				26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)			
	成果指標	協働して取り組んだプロジェクト数				6	7	7	6				
	定性目標	飯田観光協会のプロジェクト事業に対し協働して取り組む											
事業概要	飯田観光協会にて実施するプロジェクト事業等について行政も連携し、観光誘客の促進を図る。 1 南信州観光連携プロジェクト …… 産直フェア等イベント開催 2 食プロジェクト …… 郷土食五平もちの普及、スタンプラリー 3 国際観光プロジェクト …… 韓国・台湾等海外からの宣伝・誘客事業 4 組織運営体制研究プロジェクト …… 協会加入事業者の連携、組織充実化 5 観光プランづくりプロジェクト …… 地域内観光資源の掘り起こし・商品化、人材養成 6 南信州へおいでなんしょ！プロジェクト …… 首都圏での南信州の認知度アッププロモーション事業 7 その他の事業												
26年度事業内容	事業内容					名称			活動指標				
	1 南信州観光連携プロジェクト					1 会議回数			1 11回				
	2 食プロジェクト					2 会議回数			2 1回				
	3 国際観光プロジェクト					3 会議回数			3 0回				
	4 組織運営体制プロジェクト					4 会議回数			4 2回				
	5 観光プランづくりプロジェクト					5 研修回数			5 6回				
	6 南信州へおいでなんしょ！プロジェクト					6 出展回数			6 6回				
	7 元善光寺御開帳プロジェクト					7 会議回数			7 3回				
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足							
事業費計(千円)①		0	0	0	0								
国庫支出金													
県支出金													
起債													
その他													
一般財源													
人件費計(千円)②		7,867		9,655									
正規職員所要時間		2,200		2,700									
臨時職員所要時間													
総事業費①+②		7,867	0	9,655	0								
事業内容・目標達成状況の振り返り	飯田観光協会では、必要に応じて観光誘客につながる課題研究をプロジェクト事業として立ち上げ、協会理事と市職員がメンバーとなり、お互いの知識や経験を活用して取り組んできた。現在必要とされる内容は、プロジェクトとして取り組んでおり、今後も継続して、観光誘客につながるテーマやイベントの等に対し、市として関与して取り組む。												
改革改善の考え方	①問題点	飯田観光協会は、平成25年度から専任の事務局長を配置し、新たな体制になった。今後、業務の範囲やどのような組織として運営していくか方向性は決まっていない。それにより、人員体制、プロジェクト、事業、市の関与の在り方も変更していく。											
	②改革提案	今後、飯田観光協会が、組織と事業活性化のため、どのような組織として運営していくか、人員体制や事業の方向性を決める必要があり、その中で市がどう関与して観光誘客を促進するために協働していくかを検討していく。											